



## 電力需給のひっ迫を踏まえた改めたの 夏の節電・省エネルギーの呼びかけについて

令和4年6月25日  
エネルギー検討会  
広域環境保全局

### 1. 今夏の電力需給状況について

令和4年6月7日、国の「電力需給に関する検討会合（第19回）」において、今夏（7月～9月）の電力需給の見通しが示され、電力不足が懸念されることから、節電への協力を呼びかけることが決定された。

令和4年夏季は、7月の関西エリアにおいては予備率3.8%、東北・東京・中部エリアにおいては予備率3.1%と非常に厳しい見通しである。

猛暑時の需要に対する予備率

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
7月	21.4%	3.1%			3.8%				28.2%	
8月	12.5%	4.4%				22.3%				
9月	23.3%	5.6%				19.7%				

※ 10年に1度の猛暑・厳冬においても最低限必要とされる予備率は3%

### 2. 対応について

関西広域連合では、温室効果ガス削減のための広域取組として、「関西脱炭素アクション」を統一ポスター等により、広く呼びかけを行っているところであるが、電力需給のひっ迫を鑑みて、以下の期間、改めて地域の気候等に合わせて、熱中症に十分ご注意ください、無理のない範囲での節電・省エネ対応への協力を呼びかける。

#### (1) 呼びかけ内容

「関西夏のエコスタイル」として夏季の適正冷房（室温28℃）および軽装勤務のほか、省エネ・脱炭素型の製品・行動を選択いただけるよう、呼びかけを行う。

#### (2) 期間

「関西夏のエコスタイル」の期間のうち、特に夏季（令和4年7月1日（金）～9月30日（金））を対象期間とする。

参考：「関西夏のエコスタイル」 令和4年5月1日（日）～10月31日（月）